

**A+A 2013 国際労働安全機材・技術展**  
ドイツ・デュッセルドルフ  
2013年11月5日～8日



従業員、職場の安全・健康が重視され **A+A** への注目度がアップ：  
**63,000** 名を超える業界関係者が今後のビジネスに手ごたえを実感

開花する成長市場 — 健康と従業員のモチベーションが企業の重要な競争要素



4 日間の会期で開催された [A+A \(国際労働安全機材・技術展\)](#)

は 11 月 8 日、金曜日にデュッセルドルフで終了した。2 年に一度の同展の来場者は海外来場者を含め増加した。これは A+A が労働安全、労働衛生分野におけるビジネスと業界関係者のプラットフォームとして、世界トップであることを裏付けている。63,000 名を超える来場者（前回 2011 年：60,100 名）は、A+A の展示コンセプトである労働安全、セキュリティ、労働衛生や災害、救急関連の製品、技術の最新情報の収集や商談のために来場。来場者の 25% 以上は海外からで、これは 2009 年から取り組みを始めたパートナー・カントリーの設置（今回：トルコ）が、海外からの A+A 参加への関心を引き寄せ、功を奏していると主催者 Messe Duesseldorf GmbH は見ている。こういった試みにより、出展者はより可能性のあるマーケットの開拓が可能となっている。その出展者は今回 54 개국より 1,670 社が出展、日本からは次の 10 社が直接出展した（アルファベット順）。

アイトス／アトム／ガステック／原田産業／倉敷紡績／ミドリ安全／島精機製作所  
／重松製作所／東和コーポレーション／ヨツギ

また次の日系企業 5 社がヨーロッパの現地法人より出展した（同）

帝人／東レ／鶴見製作所／YKK／YKK シュトッコ・ファスナーズ

前述のパートナー・カントリーは 2009 年のロシアを皮切りに、2011 年ポーランド、今回 2013 年はトルコと続いた。同国は就労人口が 2,300 万人と多く、可能性のある市場と言える。特に PPE（個人用防護具）や作業服、ユニフォームなどのコーポレート・ファッションの分野は高い可能性を秘めている。今回 A+A に参加したト

ルコの労働安全に関する政府高官は、同国での労働安全に関する厳格な法的枠組み作りが強力に進められているとコメントした。

そのトルコと A+A の間では労働安全に関わる部分での関係強化が進められている。A+A 主催者 Messe Duesseldorf GmbH はトルコの労働・社会保険省（Turkish Ministry of Labour and Social Security）との協力を得て、2014年5月5日から7日までイスタンブールで、労働安全見本市 TOS+H を初開催する。同展の公式サイトは [こちら](#)

### 活気ある会場ホール — 労働安全マーケットは成長市場

今回の A+A 会期中のホールは、終日、多数のビジターで賑わいを見せた。出展者のブースでは目的意識を持ったビジターとの活発な商談が行われ、特に PPE や防護服、作業服など、従業員の安全に関する製品への引き合いが多く見受けられた。

ドイツの大手企業である Dräger は今回の出展について高く評価した。特にビジターとのコンタクトが質、量ともに高く、併せて国際色も更に高くなっているとコメントした。

日本出展企業からも以下のポジティブなコメントが寄せられた。

#### 難燃素材を出展した [倉敷紡績株式会社](#)

「初出展ではあったが予想以上の来場があった。具体的な商談もでき、関係性構築の良い機会となった。また安全機能の世界的トレンドを概ね把握することができた。今後も構築した関係性を維持し、次回に向けても開発に努めたい」



#### ガスの検知管式測定器を出展した [株式会社ガステック](#)



「欧州を中心とした販社との商談の場として、効果的に活用できた。来場者数も多く、満足のゆくものであった」



保護具、防具を出展した [ヨツギ株式会社](#) (写真左)

「前回より訪問者、引き合いともに増。欧州以外の訪問者も多く、今後の市場開拓に期待が持てる」



作業用手袋を出展した [アトム株式会社](#)

「いつも視察でしたが、今回初めて出展したことで市場の広さを改めて知ることができました。更に数多くの新規顧客からの引き合いがありました。日本帰国後が大変そうです!!」



機能性素材を使用したユニフォーム、手袋などを出展した [原田産業株式会社](#)

「現地顧客との接点を持てた点でとても有意義でした。エンドカスタマーとのコンタクトを増やすのが課題として残りました」

マーケットからの反応もポジティブであり、調査会社からのレポートによるとドイツにおける PPE のマーケット・ボリュームは年間 17 億ユーロ（日本円約 2,300 億円）であった。これは 2004 年から 2012 年の期間で 35% 増加となる。

## kongressも同時開催

A+A kongressには約 6,000 人が参加し、多数のテーマから構成されるプログラムで社会的・政治的な面から労働安全のトピックスが幅広く議論された。国連下部組織である国際労働機構（ILO）コンファレンスは数百人の参加者を記録し、職業病への適正な治療や予防などについても議論された。

## A+A は業界のトレンド・バロメーター

従業員の安全や健康に企業の注目が集まっているのは疑いの余地がない。参加した誰もが会場内に溢れる活気と様々なアイデアにインスパイアされた。30 回を数え



る A+A の歴史上、過去最高の記録となった 55 か国からの 1,600 を超える出展者は、個人防護、職場での健康、安全に関するあらゆる製品やサービスを出展した。

会期中に見られたトレンドの一つに若年ユーザーへの訴求が挙げられる。例えば高い安全性が求められる安全靴も、機能性だけではなくファッション性も重要な要素として見られ、会場ではスニーカー仕立てで、青や紫、蛍光グリーンのような色使い、そして軽量、履きやすさをコンセプトにしたものに注目が集まった。

こういった傾向はヘルメットや手袋、ユニフォーム、ゴーグルなど多くの製品に見られ、耐久性も含めより使いやすく、といったコンセプトも重視されていた。また機器類を見ると測定、検査機器などは小型化やウェアラブルがトレンドとして多くの出展者ブースで見られた。特に作業服、防護服などのユニフォームは A+A Fashion Show として連日、多くのビジターの注目を集めた。

それ以外にも人体工学に基づいた職場デザインや、労働現場での事故、火災、災害などのテーマパークも多くのビジターを集めて開催された。

#### 日本からも前回比 2 倍以上のビジターが参加

今回の A+A には日本からのいくつかのツアーを含め、多数の業界関係者がビジターとして参加した。株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン (MDJ) では日本から視察するビジター向けに入場券を日本円にて販売したが、売り上げ枚数は前回比 2 倍を超えた。

「繊維ニュース」を発行する [ダイセン株式会社](#) は約 40 名の繊維関係者のツアーを主催し、会期前半の 2 日間、会場を視察。参加者は自社のビジネスに活かすべく、世界中の防護服やユニフォームなどのグローバルなトレンドを五感で確かめていた。



繊維ニュース・ツアー参加者と MDJ 社長メルケ (最前列中央)

写真提供：ダイセン株式会社 (繊維ニュース)

繊維ニュース記者が A+A でレポートした複数の記事を以下でお読みいただけます。

- 世界の労働安全市場へ（上） [「圧倒される展示規模」](#)
- 世界の労働安全市場へ（中） [「果敢に領域広げる欧米企業」](#)
- 世界の労働安全市場へ（下） [「メイドイン・ジャパン」の可能性](#)
- [「A+A2013」ユラボ商材も登場／日系企業、先鋭な提案](#)

次回 2015 年の A+A は 10 月 27 日～30 日の会期でデュッセルドルフにて開催される。

A+A に関する日本でのお問い合わせは：

株メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：服部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

[mdj@messe-dus.co.jp](mailto:mdj@messe-dus.co.jp) <http://aplusa.co.jp>